

日南市教育研究所

I	研究主題	3-1
II	主題設定の理由	3-1
III	研究の目標	3-1
IV	研究仮説	3-1
V	研究の全体構想	3-2
VI	研究の組織	3-2
VII	研究の実際		
1	デジタル教科書活用推進班		3-3
(1)	デジタル教科書研修会の実施	3-3
(2)	「デジタル教科書活用ガイド」作成	3-3~5
ア	初めてでも大丈夫~デジタル教科書活用のために~	3-3
イ	デジタル教科書のセッティングの仕方	3-4
ウ	機能説明	3-4
エ	活用単元一覧表・活用場面と活用機能一覧表	3-5
2	授業研究班		3-6
(1)	国語科の授業の実際	3-6・7
(2)	算数科の授業の実際	3-8・9
VIII	成果と課題		
1	成果	3-10
2	課題	3-10
◇	参考文献	3-10
◇	研究同人	3-10

I 研究主題

新しい時代を切り拓く、豊かな学力を身に付けた日南っ子の育成

～ 国語科・算数科におけるデジタル教科書を活用した授業実践を通して ～

II 主題設定の理由

これからの社会を担う児童生徒には、「生きる力」の育成がますます重要となっている。その具体的な方策の1つとして、今回の学習指導要領の改訂では、「児童生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学習内容の習熟の程度に応じた指導や児童生徒の興味・関心等に応じた課題学習など、指導方法や指導体制を工夫改善すること」や「視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること」が示されている。

日南市では、「夢と創造と感動の日南教育」をスローガンとして「新しい時代を積極的に切り拓く心身ともに調和のとれた人間の育成」を目指している。その中で、小中学校9年間を見通した一貫性・連続性のある小中一貫教育を展開しながら、本市の地域性を生かした日南市ならではの「振徳教育」を推進し、その最重要課題である学力向上に取り組んでいるところである。

また、本市では、各学級全てに大型液晶テレビが設置されている。今回の教科書改訂に合わせて、全小学校に教師用デジタル教科書（国語・書写・社会・算数・理科・生活科・保健・外国語活動）の配付を行った（中学校には次年度配付予定）。デジタル教科書導入4か月後にあたる平成23年7月、本市小学校の教職員・児童を対象に「デジタル教科書の活用に係るアンケート」を実施したところ、次のような実態が明らかになった。

<教職員>

◇ 学力向上に効果があると考えているものの、その活用率は低い。

その理由として、以下のようなことが挙げられた。

- ・ 操作や準備に戸惑っている。
- ・ デジタル教科書の機能が單元ごとに異なっているため、どの單元にどのような機能があるか分からず、機能をうまく使いこなせていない。

<児童>

◇ デジタル教科書が視覚に訴え、授業が分かりやすいと感じる児童が多くいる。

◇ 画面が見えにくい等の環境面の不備や、教師の不慣れな操作や準備不足のために、分かりづらさを感じる児童がいる。

◇ 何を勉強したか分からないと答える等、学習に満足感や達成感をもっていない児童がいる。

これらの実態から、デジタル教科書の機能や活用について、教職員のための情報が必要であること、デジタル教科書の学習効果には個人差があること、デジタル教科書が分かりやすいと答えている児童の中には、興味・関心や面白さを感じることにのみ終始し、理解を助ける手段になりえていないことが明らかになった。

そこで、本年度、本研究所では、学力向上につながるデジタル教科書の活用の在り方について研究を行うこととした。このことは、本市の掲げる“日南ならではの教育「振徳教育」の「豊かな学力を身に付け、未来への夢や志をもつ子ども」に通じるものであり、本研究を推進することで「新しい時代を切り拓く、豊かな学力を身に付けた日南っ子の育成」の具現化を図っていきたい。

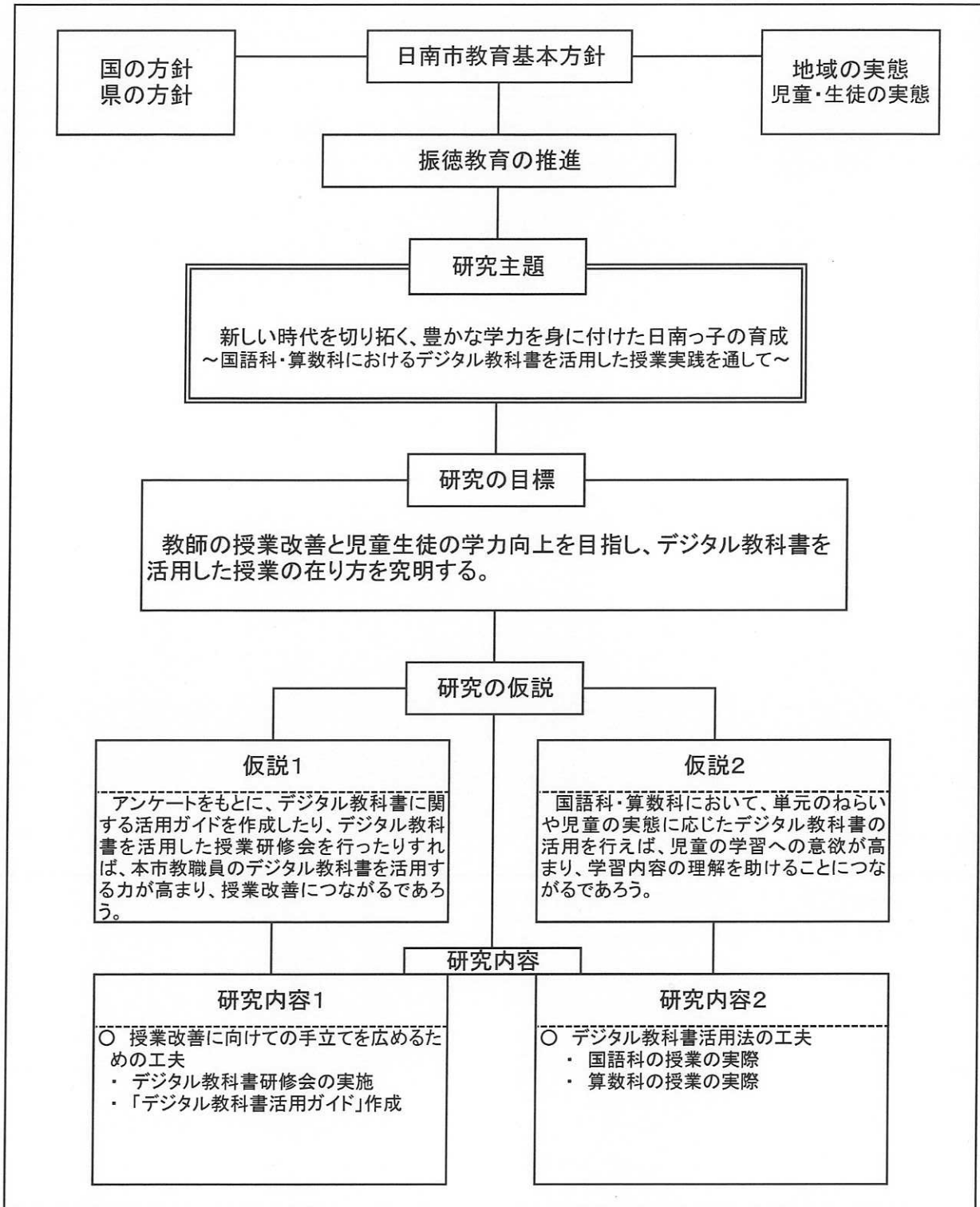
III 研究の目標

- 教師の授業改善と児童生徒の学力向上を目指し、デジタル教科書を活用した授業の在り方を究明する。

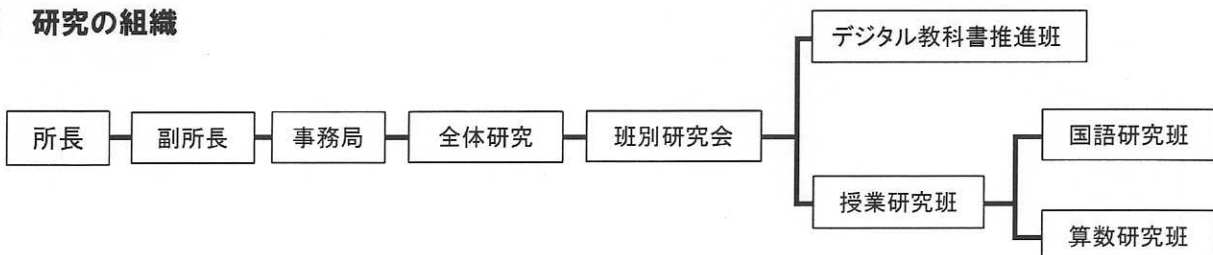
IV 研究仮説

- アンケートをもとに、デジタル教科書に関する活用ガイドを作成したり、デジタル教科書を活用した授業研修会を行ったりすれば、本市教職員のデジタル教科書を活用する力が高まり、授業改善につながるであろう。
- 国語科・算数科において、単元のねらいや児童の実態に応じたデジタル教科書の活用を行えば、児童の学習への意欲が高まり、学習内容の理解を助けることにつながるであろう。

V 研究の全体構想



VI 研究の組織



VII 研究内容

1 デジタル教科書活用推進班

本班では、まず本市の教職員、児童を対象にデジタル教科書活用に関する実態をつかむためのアンケートを実施した。「主題設定の理由」に挙げたとおり、①操作や準備に戸惑っている ②どの単元にどのような機能があるのか分からず、機能をうまく使いこなせていない という教職員の悩みが明らかになった。そこで、これらの悩みを解決するために、「デジタル教科書研修会」実施と、「デジタル教科書活用ガイド」の作成を行うことにした。

(1) デジタル教科書研修会の実施

市内各小中学校の教務主任・情報担当者を中心に参加を呼びかけ、国語と算数のデジタル教科書について2回の研究会を実施した。実際のデジタル教科書を使いながら、様々な機能について研修した。参加者は、新たな情報を各学校に持ち帰ることができた。

(2) 「デジタル教科書活用ガイド」作成

「デジタル教科書活用ガイド」は以下のように4部構成にして作成した。

ア 初めてでも大丈夫～デジタル教科書活用のために～

実態把握のためのアンケートに、全くデジタル教科書を使ったことのない教職員の不安が、多く記載されていた。そこで、その不安を解消するために、多く上がった疑問点について取り上げ、Q&A方式で解説した。

日南市教育研究所 H23年度版

初めてでも大丈夫! ~デジタル教科書活用のために~

Q1 パソコンは苦手だし、セッティングに時間がかかるので、使っていないのですが。..

A1 まずは、「デジタル教科書を使い始める前に」1ページから2ページを参照してください。..

Q2 初めてデジタル教科書を使ってみようと思うのですが、どの教科・単元がいいですか?..

A2 8ページから32ページを見てください。各学年・各教科の「活用して効果的だった単元名」等が挙げてありますので、それを参考にしてください。..

Q3 国語の教科書紙面の表示に関しては、文字が小さくて見えにくいのですが、拡大できますか?..

A3 一部分のみの拡大はできますが、画面全体の拡大はできません。一手間要りますが資料として表示する方法があります。近くで見ると、ドット(文字の荒さ)が気になりますが、児童の席から見ると、全く違和感、画面の拡大印刷(ポスター印刷)をして、紙がなくて使えます。従来のように模造紙にマジックで書くより時間短縮ができ、教科書紙面と同じですので挿絵も入っており、使いやすいようです。..

【デジタル教科書活用 Q&A】

イ 「デジタル教科書のセッティングの仕方」

初めてデジタル教科書を活用する先生のために、コードの接続の仕方やデジタル大型テレビの配置等セッティングの仕方について説明した。

デジタル教科書を使い始める前に…

操作を始める前に…
まずはデジタル教科書をインストールしましょう。付属のガイドブックに手順が載っています。

1 準備物

TV

パソコン

HDMI

レーザーマウス

延長コード

《レーザーマウスの使い方》
レーザーマウスは、離れたところからパソコンの操作をするのに便利です。付属のレシーバーをパソコンのUSBポートに差して使用します。

2 配置例

光を遮りましょう。

教室窓側配置例

黒板のスペースは空けておきましょう。

教室廊下側配置例

廊下側は光が当たりにくいですね。

3 接続方法

① パソコン側面にあるHDMIポート

③ 接続し終えたら、TV-パソコン

【デジタル教科書を使い始める前に】

ウ 機能説明

日南市では、国語は東京書籍、算数は啓林館を使用している。どの單元でも、操作方は似通っているので、下図のように国語と算数の基本操作画面を提示し、どのボタンをクリックすれば、どのような機能を使うことができるのかを吹き出しを入れて分かりやすく説明した。

基本操作 国語

クリック: 挿絵が拡大します。

クリック: 本文が拡大します。

クリック: 挿絵の「言葉の使い方」を拡大します。用例も表示されます。

クリック: 新出漢字が拡大します。拡大後、書き順アニメーション画面に移動します。

クリック: 著者の紹介文を表示します。著者インタビューがある場合もあります。

新装機能
本文を朗読します。

ペン書き込み機能
ペン/マーカー/スタンプ/めくり機能/文字入力/拡大・縮小/保存他

コンテンツ表示
ボタン表示/ポイント表示/設落表示

My教科書エディタ
教科書の挿絵、本文を自由に組み合わせて独自の教材を作成。

画面切り替え
見開き/本文拡大/挿絵/スクロール

書き順アニメーション/資料一覧画面
新出漢字/ひらがな/かたかな/ローマ字/資料一覧画面

イラストレーターにはなぜ森林がないのか

【国語の基本操作画面】

エ 活用単元一覧表・活用場面と活用機能一覧表

12月に教職員を対象にデジタル教科書を実際に活用した単元とその活用方法等についてのアンケートをとり、情報を集めた。2学期までの各単元で、多くの活用があった単元と、効果的と感じた機能とその活用方法についてまとめ、一覧表にした。この一覧表により、デジタル教科書の効果的な使い方についての情報を教職員で共有することができると考える。

4年生						
国語						
	教材文表示	挿絵表示	ムービー	朗読	ワークシート	
1学期	1 こわれた千の楽器	◎	○	○	◎	
	◇ 図書館へ行こう	○				
	◇ 心の動きを文章に書こう	○	○			
	◇ 漢字の読み方に気をつけよう	○				
	2 ヤドカリとインゲンチャク	☆	◎	○	◎	
	◇ 案内係になるう	○	○	○		
	◇ わたしが選んだ今月のニュース	○	○			
	◇ 漢字辞典の使い方を知ろう	○				
	3 走れ	◎	○	○	◎	
	◇ メモの取り方をくふうして聞こう	○	○	○		
2学期	4 広告と説明書を読みくらべよう	☆	◎	○		
	◇ わたしの考えたこと	○				
	◇ 「ことわざブック」を作ろう	○		○		
	◇ 本は友達					
	◇ ふしぎ	◎			○	
	◇ よかったなあ	◎			○	
	◇ 「今の自分」を話します	○	○			
	◇ お願いやお礼の手紙を書こう	○	○			
	◇ 文末の言い方に目を向けよう	◎	○			
	◇ 一つの花	○				
2学期	1 ごんぎつね	☆	○	○	◎	
	◇ 連詩にちようせんしよう	○				
	◇ 文の組み立てを考えよう	○				
	2 くらしの中の和と洋	☆	◎	○	◎	○
	◇ みんなで話し合っ	○	○	○		
	3 みんなで新聞を作ろう	○		○		
	◇ 文と文をつなぐ言葉の働きを考えよう	◎				
	4 世界一美しいぼくの村	☆	☆	○	☆	
	社会					
		紙質表示	挿絵表示	ムービー	ワークシート	
1学期	1 火事からくらしを守る					
	2 事故や事件からくらしを守る					
	3 水はどこから	☆	☆	○		
	4 ごみのしよりと利用	◎		◎		
	5 山ろくに広がる用水	◎	◎			
	6 県の広がり					
	7 特色ある地いきと人々のくらし					
	8 世界とつながるわたしたちの県					

算数						
	紙質表示	挿絵表示	ムービー	音声	穴埋め	
1学期	1 角とその大きさ	◎	◎	○	○	
	2 1けたでわるわり算の筆算	◎	◎	○	○	
	◇ みんなで話しあいましょう	○	○			
	◇ 何倍でしょう	○	○			
	3 一億をこえる数	◎	◎	○	○	
	4 式と計算の順じよ	◎	○			
	5 折れ線グラフ	☆	◎	◎		
	6 小数	◎	○	○	○	
	◇ 算数の自由研究	○				
	2学期	7 面積	☆	◎	○	○
8 2けたでわるわり算の筆算		◎	◎	○	○	
◇ よみとる算数(1)		○				
9 そろばん		○	○			
10 がい数とその計算		◎	○	○	○	
◇ 見積もりを使って		○				
◇ どんな計算になるのかな		○				
11 算数の計算のまとめ		○				
12 垂直・平行と四角形		☆	☆	◎	○	
13 小数×整数、小数÷整数		○	○	○	○	
◇ もとの数はいくつ	○					

理科							
	紙質表示	挿絵表示	ムービー	音声	写真集		
1学期	1 春の自然	◎	◎		○		
	2 電気のはたらき	○	○	○		○	
	3 1日の気温の変化	○	○				
	◇ 夏の自然	○	◎	○	○		
	◇ 夜空を見よう	○	◎	○		◎	
	◇ 自由研究 出かけよう 科学の世界へ		○				
	◇ 理科から仕事へ 大平貴之さん						
	4 月や星	☆	☆	◎	○	◎	
	2学期	5 空気や水をどじこめると	○	◎	◎	○	
		6 ヒトの体のつくりと運動	○	◎	○		○
◇ 秋の自然		◎	◎	○	○		
◇ みんなで使う理科室		◎	○	☆		○	
7 ものの温度と体積		○	○	○		○	
◇ 冬の夜空		◎	◎	◎		◎	

【活用単元一覧表】

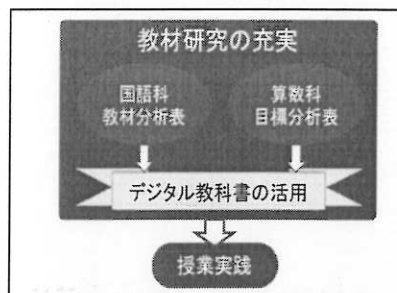
4年・国語(※1・2学期単元)									
学期	①単元名	②活用段階		③活用機能				④活用方法	
		導入	展開	教材文表示	挿絵表示	ムービー	朗読		ワークシート
1学期	1 こわれた千の楽器		○				○		楽器のムービーから物語の中の様子をイメージすることができた。
	2 ヤドカリとインゲンチャク		○				○		動画を使い、実際に動くヤドカリやインゲンチャクを見ることにより、児童により具体的に想像させる効果があった。
	2 ヤドカリとインゲンチャク		○	○		○	○		ヤドカリがインゲンチャクを自分の貝殻に付ける方法について挿絵を見ながら説明させたり、読み取り後にヤドカリとインゲンチャクの関係についてムービーで確認したりすることで、内容理解が深まるという効果があった。
	2 ヤドカリとインゲンチャク		○		○			○	教材文を表示し目で違いながら確認することで、より内容に集中させる効果があった。

【活用場面と活用機能一覧表】

2 授業研究班

入念な教材研究が基盤にあって、初めて学力向上を目指したデジタル教科書の活用が可能となるという考えの下で本研究を進めてきた。(右図) 教材研究の中で特に力を入れたのが、国語科の教材分析、算数科の目標分析である。

デジタル教科書を使用することは、従来の教具作成時間削減につながるるとともに、児童生徒にとっても理解を助けたり促したりするための手立てとして有効である。デジタル教科書の活用は「目的」でなく、「手立て」の一つであることを意識し、デジタル教科書活用の意図を明確にもちながら授業を展開するようにした。



【授業研究班の研究構想】

活用の意図	活用の仕方
課題把握 (課題やめあてを視覚的につかませる)	○表示 (拡大・画像・動画等)
意欲喚起 (学習への意欲を高める)	
思考深化 (思考を深めさせ自分の考えをもたせる)	
内容定着 (学習内容の定着を図る)	○コンテンツ (カーテン・書き込み・音読等)

【デジタル教科書活用の意図】

(1) 国語科の授業の実際

ア 教材研究


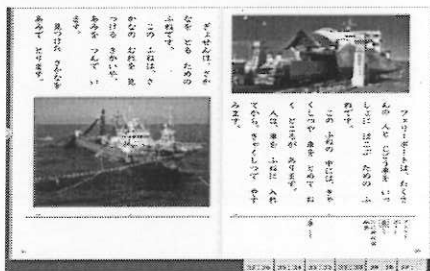


教材のポイントを明確にし、意図を明確にしたデジタル教科書の活用を図るために、下記のように、教材分析表を作成した。

なか	はじめ	まとめ
⑦⑥ ⑤ ④③ ②	①	段落
<p>くしつてます</p> <p>車をふねに入れてか</p> <p>「構」・「備」・「きやく」</p> <p>「め」・「お」・「し」がある</p> <p>単元全体の流れ (文章構成) や押さえるべき語句・基本文型を記入する。</p>	<p>いろいろなふね</p> <p>いろいろな</p>	文章構成
<p>しをしたりす</p> <p>しやく</p> <p>しつ</p> <p>きやく</p> <p>ん</p> <p>たくさ</p>	いろいろ	語句
<p>りま</p> <p>中はが</p> <p>この</p> <p>す</p> <p>な</p> <p>は</p>		基本文型
○	○	課題把握
	○	意欲喚起
○		思考深化
○		内容定着

【教材分析表】

イ デジタル教科書活用場面の実際

第1学年「のりもののことをしらべよう」教材「いろいろなふね」の学習において、以下のようにデジタル教科書の活用の仕方を検証した。

デジタル教科書活用の意図			
<p>下学年の国語科では、文章量は多くないものの、文章のまとまりを意識しながら、書かれている内容に関心をもちながら正確に読み取る必要がある。文章からのみではなく、挿絵や写真、動画からも情報を取り出したり、読み取ったことを視覚的に確認したりするという工夫が求められる。</p>			
本時の目標			
○ 叙述を基に、「ぎよせん」の役目と構造を読み取ることができる。(読むこと)			
学習指導過程及びデジタル教科書活用場面の実際			
段階	学習活動	デジタル教科書活用場面の実際	効果
導入	1 めあてをつかむ。 「ぎよせん」のやくめとくふうをしらべよう	○ 漁船の画像を提示する。 	○ 漁船の画像を提示したことで細部まで子どもたちの目が行き届き、子どもたちが、口々に漁船について、気付いたこと・感じたことを述べていたことから関心を高めることができたといえる。
	2 本時の学習範囲を音読する。 3 一人調べをする。 4 漁船について読み取ったことを確認し合う。	○ 教科書紙面ごと本文を提示し、紙面を見ながら音読する。  ○ 本文を拡大し、サイドラインを引き、全体で読み取った内容を共有する。 	○ 学習範囲の本文に一齐に目を向けさせるとともに、デジタル教科書の音読機能により、適切な速さや発音を誘導し、テンポよく音読させることができた。 ○ 子どもたちの発表をもとに、画面の本文にサイドラインを引いていったことで、自分の教科書に引いたサイドラインと比べながら、確かめることができた。
終末	5 読み取った内容を確認しながら、漁船についての映像を見る。 6 学習のまとめをする。	○ 文章の内容に関わるムービーを見せ、学習内容を定着させる。 	○ 実際に魚を捕る漁船映像を見ることで、読み取った内容を確認・共有し、新たな情報を与えることで、視野を広げることができた。

(2) 算数科の授業の実際

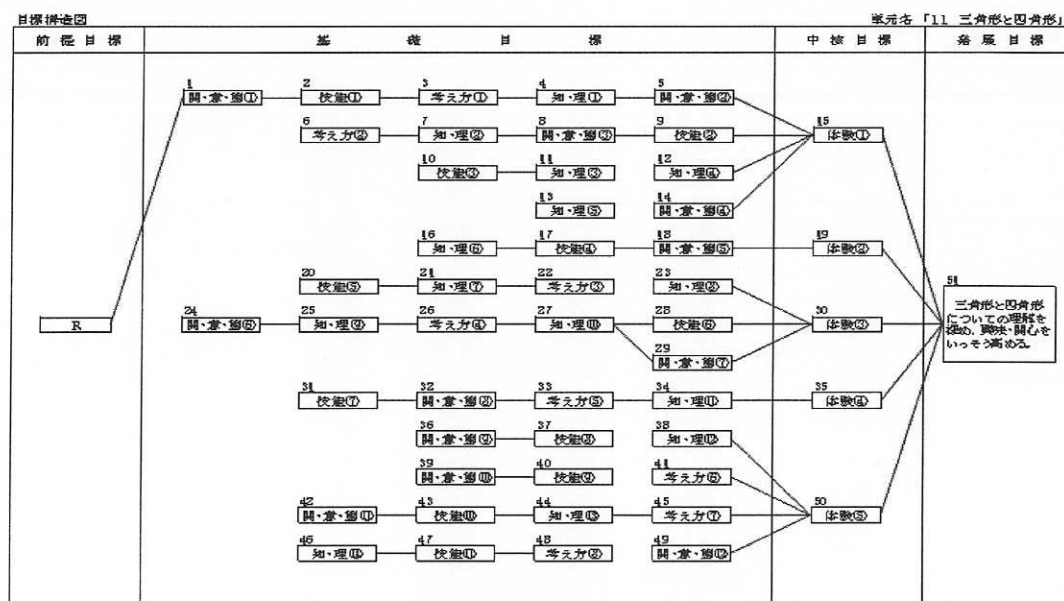
ア 教材研究

算数・数学には内容の系統性や学習の連続性が明確であるという教科の特性がある。1 単位時間における指導事項と、その相互関係を明らかにするために、下のように目標分析を行った。

学習事項	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解	体験目標
1 三角形と四角形の構成	①動物の家づくりの作業に関心をもって取り組もうとしている。 ②三角形、四角形についてさらに調べてみようと思心をもって取り組もうとしている。	①できた形を、直線の数に着目して2つのなかまに分ける。	①点と点を直線で結ぶことができる。	①三角形と四角形の用語とその定義を知る。	
2 弁別と点構成・線構成	③点と点を線でつないで、三角形や四角形をつくろうとする。	②三角形や四角形をみつけたわけについて説明できる。	②三角形や四角形の点構成、線構成ができる。	②三角形と四角形の定義について理解する。	
3 面構成		①できた形を、直線の数に着目して2つのなかまに分ける。	③四角形の紙を2つに折って三角形や四角形をつくる。	③用語「辺」「頂点」の意味を知る。 ④面構成を通して三角形や四角形について理解する。	
4 さがしてみよう	④三角形や四角形の形をしたものを意欲的に探し出そうとしている。	②三角形や四角形をみつけたわけについて説明できる。		⑤定義を基に、三角形と四角形について説明できる。	①身の回りから三角形や四角形を見つげようとする。

【目標分析表】

次に、目標を系統的にとらえるため、下のように目標の構造化を行った。目標相互の関連性を図に表し、指導の順序を明確にした。これにより、児童の意識の流れに沿った単元指導計画が立てやすくなると考えた。



【目標構造化図】


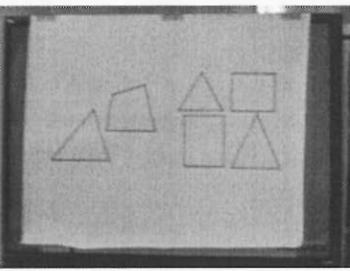
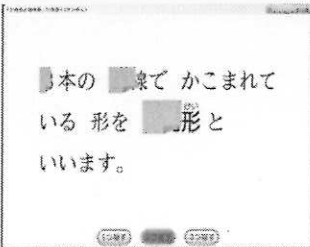
以上の手順を踏み、単元指導計画を作成した。作成にあたっては、デジタル教科書が有効と思われる箇所のみデジタル教科書を活用することとし、その活用方法と活用の意図を記すことにした。

時数	主な学習内容及び学習活動	活用の有無	デジタル教科書の活用方法	活用の意図
1	動物を直線で囲む操作を通して、三角形、四角形の定義をつかむ。	有	○ 動物が描かれた挿絵を見せる。 ○ 動物を直線で囲んだ完成図を見せて確認する。 ○ 用語と定義の確実な定着を図るために、素材コンテンツを活用する。また、キーワードを隠して繰り返し唱えさせる。	課題把握 意欲喚起 内容定着
2	三角形と四角形について、その理由を説明し、点と点をつないで三角形や四角形をつくる。	有	○ いろいろな三角形や四角形を提示する。 ○ ドット方眼を示して、点と点をつないで三角形や四角形を描いて見せる。	思考深化 内容定着
4	身の回りから、三角形や四角形の形をしたものを見つけてみる。	無		
5	紙を折って本やノートのかどの形をつくり、「直角」を知る。	有	○ 紙を折り曲げて、直角を作る折り方の手順を確認する。	課題把握

【単元指導計画】

イ デジタル教科書活用場面の実際

第2学年「三角形と四角形」の単元導入において、以下のように検討した。

デジタル教科書活用の意図			
低学年の図形の学習においては、具体物に直接触れ、徐々にそのイメージを抽象化し、幾何的な概念にまで高めていくような展開の工夫が求められる。しかし、低学年の発達段階において、物事を抽象化することは大変難しいので、デジタル教科書を活用した学習活動を行うことは大変有効であると考えた。			
本時の目標			
○ 三角形と四角形用語を知り、その定義について理解する。			
学習指導過程及びデジタル教科書活用場面の実際			
段階	学習活動	デジタル教科書活用場面の実際	効果
導入	1 問題をとらえる。	○ 教科書の挿絵をデジタル教科書で提示し、ゲームの仕方を、作業の手順を示しながら説明する。 	○ 時間をかけずに掲示資料の準備を行うことができた。 ○ 書き込み方の確認をスムーズに行うことができた。 ○ 答え合わせを全員で確認することができた。 ○ ムービーを見せることで児童を注目させ、完成した喜びをもたせることができた。
	2 完成図を確認する。		
	3 本時のめあてを確認する。 できた形について調べよう。		
展開	4 図形調べの見通しをもつ。	○ 三角形・四角形のみを描いた模造紙を画面に重ねて掛け、図形に着目させる。 	○ 必要な情報のみを取り出し、考えさせるポイントを示すことができた。 ○ 児童の注目を保ち、思考を中断させることなく、導入から展開への流れをスムーズにすることができた。
	5 自力解決する。		
	6 考えを話し合う。		
終末	7 三角形と四角形用語を知り、その定義についてまめる。	○ 本時で学習した内容の定着を図るため、素材コンテンツのカーテン機能を用いて、重要語句を繰り返し音読・唱えさせる。 	○ 繰り返し唱えさせたことで、児童に学習内容が定着している実感をもたせることができた。 ○ マウスポインターで遠隔操作しながら机間指導をすることで、児童の様子を確認しながらテンポよく、フラッシュカードのように活用することができた。

Ⅷ 成果と課題

1 成果

- 児童及び教師にアンケートを実施したことで、デジタル教科書を使用する上での課題や教師が抱える悩み等を把握することができた。
- 日南市内の小学校教師から、効果的だと感じたデジタル教科書の使用方法について情報収集し、活用集にまとめ配付することで、情報の共有を図ることができた。
- 国語科の教材分析表、算数科の目標構造図等を作成した授業づくりにより、デジタル教科書活用の意図・場面・方法が明確になり、デジタル教科書を活用しながら目標の達成に迫ることができた。
- デジタル教科書の活用場面を絞り、思考の抽象化の手助けや読み取ったことの視覚的な確認をすることにより、児童の興味・関心を高め、意欲を持続させたり、思考し判断する学習活動を活発にしたりすることができた。

2 課題

- デジタル教科書の使用が教師に限っているため、児童が活用する授業展開の確立も視野に入れて研究を深める必要がある。
- 中学校でのデジタル教科書の効果的な使用方法について、情報の共有を図っていく必要がある。

[参考文献]

- ◇ 小学校学習指導要領解説 総則編（文部科学省）
- ◇ 教育の情報化ビジョン～21世紀にふさわしい学びと学校の創造を目指して～
（文部科学省 平成23年4月）
- ◇ デジタル教科書・教材、情報端末WG 検討のまとめ（平成23年2月）
- ◇ 小学校デジタル教科書 内容紹介資料（東京書籍）
- ◇ 小学校デジタル教科書 内容紹介資料（啓林館）
- ◇ 光村国語デジタル教科書実践活用ガイド（光村図書）
参照 URL <http://www.mitsumura-tosho.co.jp/>
- ◇ 小学校学習指導要領解説 算数編（文部科学省）
- ◇ 評価規準の作成のための参考資料 小学校（国立教育政策研究所教育課程研究センター）

<日南市研究所研究同人>

事務局

所長	安野 喜宏	（日南市教育委員会 教育長）
副所長	河野 好宏	（日南市教育委員会 教育専門対策監）
事務局	木場 麻利子	（日南市教育委員会 指導主事）
	佐藤 健一郎	（日南市教育委員会 指導主事）
	三田 明生	（日南市教育委員会 指導主事）

研究員

主任研究員	植木 秀芳	（細田中学校 教頭）
副主任研究員	江田 雅子	（東郷小学校 教頭）
研究員	壺岐 俊郎	（吾田小学校 教諭）
	日高 太志	（吾田小学校 教諭）
	岑 俊宏	（油津小学校 教諭）
	佐藤 健一	（桜ヶ丘小学校 教諭）
	川越 秀樹	（吾田東小学校 教諭）
	島田 美津貴	（南郷小学校 教諭）
	池田 愛	（飴肥中学校 教諭）
	久保 智子	（酒谷小学校 教諭）